

# 平成28年度新入生オリエンテーション実施報告

朝廣 雄一  
Yuichi ASAHIRO

九州産業大学 情報科学部 情報科学科  
Department of Information Science, Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University  
<http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~asahiro/>

アブドゥハン  
バーナディ  
Bernady O. APDUHAN

九州産業大学 情報科学部 情報科学科  
Department of Information Science, Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University  
<http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~bob/>

稲永 健太郎  
Kentaro INENAGA

九州産業大学 情報科学部 情報科学科  
Department of Information Science, Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University  
<http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~inenaga/>

下川 俊彦  
Toshihiko SHIMOKAWA

九州産業大学 情報科学部 情報科学科  
Department of Information Science, Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University  
<http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~toshi/>

古井 陽之助  
Younosuke FURUI

九州産業大学 情報科学部 情報科学科  
Department of Information Science, Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University  
<http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~furui/>

安武 芳紘  
Yoshihiro YASUTAKE

九州産業大学 情報科学部 情報科学科  
Department of Information Science, Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University  
<http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~yasutake/>

## 1. はじめに

九州産業大学 情報科学部 情報科学科では入学直後の1年生(新入生)に対し、1泊2日の合宿形式で新入生オリエンテーションを実施している。新入生オリエンテーションの目的は、新入生が円滑に大学生活を始められるよう支援することである。新入生に対しては大学の色々な部署、例えば教務部や学生部などが入学式の直後から1週間ほどかけて授業の履修方法や学生生活に必要な手続きや注意点などについてのガイダンスを実施し、有意義な大学生活を開始してもらうための支援を行っている。もちろんそれらの内容はしっかりとした価値のあるものであるが、さらに情報科学部 情報科学科として独自に新入生オリエンテーションを実施することで、入学時の支援を強化している。なお、九州産業大学の他学部他学科のうち合宿形式での新入生オリエンテーションを行っているのは、商学部 観光産業学科のみである。

過去に実施した新入生オリエンテーションに関する報告は本誌にて行われてきており、例えば直近3年間分の記事が[1]と[2]、[3]にある。これらにならない本稿では、平成28年度に実施した新入生オリエンテーションについての報告を行う。円滑に大学生活を開始してもらうことに主眼を置いているため、オリエンテーションの主な内容は以下の2つである。

- 同級生との交流を促進するためのコミュニケーションワーク
- 高校までと大きく異なる履修登録を理解するための説明と履修登録に向けての準備

まず2節でオリエンテーション全体の概要について説明する。その後、実施した内容の順に従って、出発式(3節)、移動(4節)、コミュニケーションワーク(5節)、時間割作成(6節)について説明する。7節では、オリエンテーション終了後に新入生に対して行ったアンケート結果についてまとめる。

## 2. オリエンテーションの概要

新入生は1年前期の授業科目である導入ゼミナールI[4]のグループ分けに従い12人程度のグループに分けられる。新入生はこのグループごとに色々な活動を行う。各グループには新入生だけではなく、導入ゼミナールIでそのグループを担当する教員1名と上級生スタッフ1~2名程度も必要に応じて加わり活動をともし行う。オリエンテーションのスケジュールは以下であり、会場は福岡県宗像市にあるグローバルアリーナ[5]である。

### 4月5日(火): 1日目

- 12:30** 集合・出発式
- 12:40** グローバルアリーナへ移動(貸切バス)
- 14:00** グローバルアリーナでチェックイン
- 14:30** コミュニケーションワーク(体育館)
- 18:00** 夕食(レストラン NO SIDE)
- 19:30** 時間割作成(体育館)
- 21:30** 自由時間
- 24:00** 消灯

### 4月6日(水): 2日目

- 7:00 朝食
- 8:00 清掃
- 9:00 時間割作成（大会議室）
- 12:30 九州産業大学へ移動（貸切バス）
- 13:30 解散式・アンケート記入

### 3. 出 発 式

出発式は新入生全員が着席できる大教室にて実施した。この場で新入生に対して、オリエンテーション中に着用する名札と各種の説明が書かれたしおりが配付された。しおりの内容は、スケジュール・注意事項・グループ分けやバスの割り当て・グローバルアリーナ（会場）内の地図などである。

### 4. 移 動

会場へ向かうバスの中では、教員と上級生スタッフによる自己紹介が行われた。この自己紹介のやり方は、会場に着いてから新入生が行う拡大名刺による自己紹介（5.1を参照）と同様のものである。これを移動中に行ったことには、教員と上級生のことを知ってもらうことに加え、会場での実施に先立ち実例を示して見せるという意味もあった。走行中の車内で行ったため、いつ実施するかや立つ位置をどうするかなど若干の注意が必要であった。また、会場でのコミュニケーションワークで利用するものと同じ大きさの用紙（A3）により実施したが、バス車内の後方に着席している人からは見えにくかったようなので、より大きい用紙を使った方が良かったかもしれない。

## 5. コミュニケーションワーク

コミュニケーションワークでは、拡大名刺による自己紹介・みんなで50マス作文・ペーパータワーの3種類を行った。これらのコミュニケーションワークは、外部の専門の方に企画と実施の指揮をして頂いた。コミュニケーションワークの実施にあたり、上級生スタッフには事前研修も受けてもらった。以下でそれぞれについて述べる。

### 5.1 拡大名刺による自己紹介

各グループごとに集まって自己紹介を行うのであるが、声が聞き取りにくかったり、人前で話すことが不得手な人がいたりすることが過去にはあった。そこで昨年度（平成27年度）から拡大名刺なるものを利用した自己紹介を行っている[3]。拡大名刺とは、氏名とそれ以外の事柄（趣味、出身、好きなもの、絵など）をA3の用紙に大きく書いたものである。まずこの拡大名刺を作ることにより、氏名だけ述べて終わってしまい何の印象にも残らないような自己紹介を避けることができる。そして、例え



図1 拡大名刺の作成

ば共通の趣味を持っている人などを見つけることができ、コミュニケーションの活性化が期待できる。また、声が少々聞き取りにくくとも、書いた内容は他の人にも十分に伝わる。

先に述べたように、教員と上級生スタッフの多くは移動時のバス車内で拡大名刺による自己紹介を実施済みである。そこで、この時間帯における教員と上級生スタッフの役割は、拡大名刺の作成について助言することと自己紹介が円滑に実施されるよう誘導することである。図1は、拡大名刺を作成している様子である。

### 5.2 みんなで50マス作文

このワークでは、原稿用紙を大きくしたような用紙を壁に貼り付けて利用する。用紙には50個のマスがあり、字が書き込めるようにしてある。このワークの目標は、言葉によるコミュニケーションをとらずに、チームのメンバーが順に1文字ずつ記入していくことで何らかのお題に沿った文章を作り上げることである。クエスチョンマークなどの記号や絵文字なども記入して良いことになっている。実施にあたっては12人程度いる各グループを2つのチームに分けた（次のワークであるペーパータワーも同じチーム分けで行った）。チームのメンバーは一人あたり8から9文字程度を記入することになるが、話をすることなく、前の人が書いた（1文字の）意図を汲み取り次の人へ文をつなぐ必要がある。文字のみによるコミュニケーションに取り組むことで、相手の意図を理解して反応を返すことの意義や効果を体験してもらうことが目的である。教員や上級生スタッフは新入生とともに参加も出来る。

最初のお題は「意中の人をデートに誘う文面」であり、2つめのお題は「他チームが作った文面への返事を書く」であった。それなりにきちんとした文章が仕上がるチームもあれば、何を書いているか理解不能な記号だらけの文章が出来上がるチームなども見られた。完成する文面を話題にできるので、新入生間のコミュニケーションが活性化される効果もある。



図2 ペーパータワーの作成

### 5.3 ペーパータワー

用紙30枚により何らかの構造物を作り、その高さを競うワークである。まず各チームには紙1枚だけを渡され、作戦を立てる時間帯が設けられる。ここで、どういった構造物を作成するかとチーム内での役割分担をどうするかについて話し合う。その後で実際に構造物を作るのだが、構造物を作るのに使える時間は短か目に設定される。このワークでは、何らかの作業を行う場合に必要とされる事前の計画やチームメンバーによる分担作業の重要性を感じ取ってもらうためのものである。当然ながら、計画を立てるためにはコミュニケーションを十分にとる必要がある。このワークは経験者と未経験者の差が出やすいため、教員と上級生スタッフは基本的に見守るのみで、助言もほとんどせず、新入生の積極性を引き出すことのみを心がける。図2はペーパータワーを作成している様子である。

このワークでは、上位3チームに対して豪華な景品が用意された。上位3チームに入れなかったチームにも普通の(豪華でない)景品が用意された。これらの景品は、自由時間に使ってもらうことを想定したものである(詳細については想像して欲しい)。

## 6. 時間割作成

大学が高校までと大きく異なる点の一つは、授業の履修についてであろう。学生は自らの科目を履修するかを決めて、履修するための登録の手続き(履修登録)を行わなければならない。新入生に対しては教務部が履修登録に関するガイダンスを行っている。しかし、教務部による説明は卒業までに各科目区分の中から何単位を習得する必要であるか(何科目を履修して合格する必要があるか)と、登録作業をどのように行うかといった点が中心であって、履修する科目をどういった方針で選ぶと良いかといった指針は与えてくれない。例えば、専門選択科目の単位を10単位(5科目分)修得する必要があるとして、では20科目など開講されている中からどの科目

を履修するの良いのであろうかという点に学生は悩むと考えられる。そこで、履修科目を選ぶための助言を学部独自に実施することにより、新入生が各個人の時間割を作成(履修する科目を決定)しやすくすることが本活動の主な目的である。

まず、図3のような時間割表として使う用紙を配布した。この用紙には、

- 1年生の必修科目
- 基本的に履修して欲しいと大学側が考えている選択科目
- 選択科目であるが情報科学総合コースを卒業するには単位修得が必要な科目(情報科学総合コース必修科目と呼ぶ)

のみを大学公式の時間割[6]から抜き出して記入してある。それらの科目以外の時限は空欄となっており、空欄を埋めていく形で個人の時間割を作成してもらう。また基礎教育科目については、必修科目が既に配置されている時限以外のものを抜き出すことにより見やすくした表(図4)を配布した。

総合コース必修科目について簡単に説明する。情報科学部の学生は2年生になった時にJABEE[7]に対応したカリキュラムを実施している情報科学総合コース、またはJABEEに対応していない情報技術応用コースのどちらかに所属することになる。情報科学総合コースを修了するには、通常の必修科目に加えて指定されるいくつかの選択科目の単位を修得しなければならないのであるが、その一部が1年次に開講されている。そういった科目については1年次に履修しないでにおいて、情報科学総合コースに所属することが決まってから履修してもよいが、どうせなら1年次に履修して単位を修得しておくのが望ましい。そのため、情報科学総合コースに所属することに全く興味のない学生以外には、情報科学総合コース必修科目は履修することを勧めている。

教員と上級生スタッフから新入生へ向けて、上記の用紙の使い方に加え全員向けに一般的な説明を行った。特に上級生スタッフが、各科目系統(例えばソフトウェア作成系など)ごとに、プロジェクトとスライドを用いて、科目の位置づけ等について要領よく説明してくれた。その後、各グループごとに分かれ、上記の用紙や履修ガイド、(大学公式の)時間割、授業計画について書かれたシラバスなどを参考に新入生たちは時間割作成に取り組んだ。教員と上級生スタッフの役割は、新入生それぞれが理解できていない点や知りたい点などを個別に説明しながら、時間割作成に関する助言を行うことである。なお、上級生スタッフは、教員が説明しにくいようなことも学生目線で説明出来るので、場合によっては教員よりも上級生スタッフからの助言の方が役に立つ様子も見受けられる。なお、教職課程に関する説明も教員免許に興味のある学生だけを集めて別途行われた。

| 前期時間割表                           |                                                                |   |                                          |   |                      |   |                         |  |                   |
|----------------------------------|----------------------------------------------------------------|---|------------------------------------------|---|----------------------|---|-------------------------|--|-------------------|
| *必修科目 □専門選択 (導)導入科目 (J)総合コース必修科目 |                                                                |   |                                          |   |                      |   |                         |  |                   |
|                                  | 1 時限(9:00～10:30)                                               |   | 2 時限(10:40～12:10)                        |   | 3 時限(13:00～14:30)    |   | 4 時限(14:40～16:10)       |  | 5 時限(16:20～17:50) |
| 月                                |                                                                |   | □キャリア形成基礎論                               |   | *(導)導入ゼミナール I        |   |                         |  |                   |
|                                  |                                                                |   |                                          | 2 |                      | 1 |                         |  |                   |
| 火                                | *情報リテラシー                                                       |   | *情報リテラシー演習                               |   | *Reading & Writing I |   |                         |  |                   |
|                                  |                                                                | 2 |                                          | 2 |                      | 1 |                         |  |                   |
| 水                                | *情報科学序説                                                        |   | *(導)数学基礎演習                               |   |                      |   |                         |  |                   |
|                                  |                                                                | 2 |                                          | 2 |                      |   |                         |  |                   |
| 木                                |                                                                |   |                                          |   |                      |   | *Listening & Speaking I |  |                   |
|                                  |                                                                |   |                                          |   |                      |   | 1                       |  |                   |
| 金                                | □(J)離散数学 I (ア クラス)<br>□(J)線形代数 I (イ クラス)<br>□(J)線形代数 I (ウ クラス) |   | □(J)線形代数 I (ア クラス)<br>□(J)離散数学 I (イ クラス) |   | □(J)離散数学 I (ウ クラス)   |   |                         |  |                   |
|                                  |                                                                | 2 |                                          | 2 |                      | 2 |                         |  |                   |

学籍番号 名前 受講科目単位数

図 3 時間割作成のための用紙

7. アンケート結果

オリエンテーションから戻ってきた後、新入生にはアンケートに協力してもらった。アンケートの内容は以下の通りである。

- (1) それぞれの実施内容について有意義でしたか？ あてはまるものに○をつけてください。
- a コミュニケーションワーク：とても有意義・かなり有意義・有意義・あまり有意義でない・全然有意義でない

b 時間割作成：とても有意義・かなり有意義・有意義・あまり有意義でない・全然有意義でない

c オリエンテーション合宿全体について：とても有意義・かなり有意義・有意義・あまり有意義でない・全然有意義でない
- (2) コミュニケーションワークについて詳しく教えてください
- a 積極的に参加できましたか？ あてはまるものに○をつけてください：とてもできた・かなりできた・できた・あまりできなかった・全然できなかった

b ワークを体験してあなたの気持ちに変化がありましたか？ あてはまるものに○をつけてください。その他があればカッコ内に記入してくだ

- さい。
- 緊張が：増えた・減った・変わらなかった

●不安が：増えた・減った・変わらなかった

●心細さが：増えた・減った・変わらなかった

●親しみが：増えた・減った・変わらなかった

●わくわくが：増えた・減った・変わらなかった

●その他（自由記述欄）
- (3) 日程と場所についてどのように思いますか？あてはまるものに○をつけてください。その他の場合はカッコ内に記入してください。
- a 期間：1泊2日（現状）が良い・日帰りが良い・その他（自由記述欄）

b 場所：学外施設（現状）が良い・学内が良い・その他（自由記述欄）
- (4) 1年後に上級生として次の1年生のために合宿へ参加したいと思いますか？あてはまるものに○をつけてください：強く思う・思う・どちらでもよい・あまり思わない・まったく思わない
- (5) 今回のオリエンテーション合宿について、感想・意見等自由に書いてください。
- 問(1)の回答について図5にまとめる。いずれの質問に対しても、とても有意義・かなり有意義・有意義を合わせると97%以上となっており、新入生が意義を感じていることが分かる。



前期時間割表(基礎教育科目)

| *必修科目 | 開基礎教育科目(導入科目)                                              | ★コア科目(履修を推奨する科目)                                                                                                   | 専専門選択科目                                                                             | 留留学生科目                                                                                  |                                                                     |
|-------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
|       | 1 時限(9:00~10:30)                                           | 2 時限(10:40~12:10)                                                                                                  | 3 時限(13:00~14:30)                                                                   | 5 時限(16:20~17:50)                                                                       |                                                                     |
| 月     | ★現代の政治<br>★数理的教養Ⅰ<br>心理学概説<br>文化人類学<br>科学の世界<br>実践キャリア学修 B | ★法学<br>★日本国憲法<br>★現代の政治<br>★スポーツ科学演習<br>★数理的教養<br>キャリア形成基礎論<br>心理学概説<br>文化人類学<br>科学の世界<br>健康学                      |                                                                                     | ★実用国語Ⅰ(文章力)<br>★日本の歴史<br>★数理的教養<br>★日本国憲法<br>健康学<br>地理の世界<br>※注1                        | ★実用国語Ⅱ(国語力)<br>★法学<br>★数理的教養                                        |
| 火     |                                                            |                                                                                                                    |                                                                                     | ★実用国語Ⅰ(文章力)<br>★現代の政治<br>★日本国憲法<br>現代の経営<br>科学技術史<br>健康学<br>心の健康<br>現代の経済<br>地学の世界      | ★日本の歴史<br>★実用国語Ⅱ(国語力)<br>科学の世界<br>心理学概説<br>人権・同和問題<br>地学の世界         |
| 水     |                                                            |                                                                                                                    | ★実用国語Ⅰ(文章力)<br>★法学<br>★実用国語Ⅱ(国語力)<br>★スポーツ科学演習<br>文学の世界<br>文化人類学<br>総合講座 C          | ★世界の歴史<br>倫理学<br>地学の世界                                                                  | ★世界の歴史<br>★現代の政治<br>倫理学<br>地学の世界<br>音楽概論                            |
| 木     | ★現代の政治<br>★実用国語Ⅰ(文章力)<br>★数理的教養Ⅰ                           | ★世界の歴史<br>★日本の歴史<br>★実用国語Ⅰ(文章力)<br>★数理的教養Ⅰ<br>★スポーツ科学演習<br>ジェンダーと社会<br>科学・技術史<br>日本の政治経済<br>課題解決演習 A<br>健康学<br>※注1 | ★実用国語Ⅰ(文章力)<br>★数理的教養Ⅱ<br>★日本国憲法<br>★スポーツ科学演習<br>心の健康<br>ジェンダーと社会<br>世界の美術館<br>※注1  |                                                                                         | ★実用国語Ⅰ(文章力)<br>★法学<br>★現代の政治<br>心理学概説<br>哲学の世界<br>実践力育成演習<br>日本の歴史Ⅰ |
| 金     | 専 離散数学Ⅰ(ア)<br>専 線形代数Ⅰ(イ、ウ)                                 | 専 離散数学Ⅰ(イ)<br>専 線形代数Ⅰ(ア)<br>★実用国語Ⅰ(文章力)<br>★現代の政治<br>★日本国憲法<br>★スポーツ科学演習<br>哲学の世界<br>人権同和問題<br>※注1                 | 専 離散数学Ⅰ(ウ)<br>★実用国語Ⅰ(文章力)<br>★スポーツ科学演習<br>哲学の世界<br>現代の経済<br>美学・美術史<br>人権同和問題<br>※注1 | ★世界の歴史<br>★実用国語Ⅰ(文章力)<br>★実用国語Ⅱ(国語力)<br>★数理的教養<br>★スポーツ科学演習<br>美学美術史<br>留基日本の文化Ⅰ<br>※注1 | ★世界の歴史<br>★数理的教養Ⅰ<br>★数理的教養Ⅱ<br>文学の世界<br>留基一般日本事情Ⅰ                  |

図 4 基礎教育科目の一覧

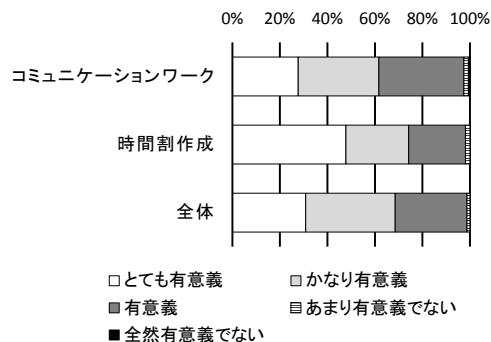


図 5 実施内容についての評価

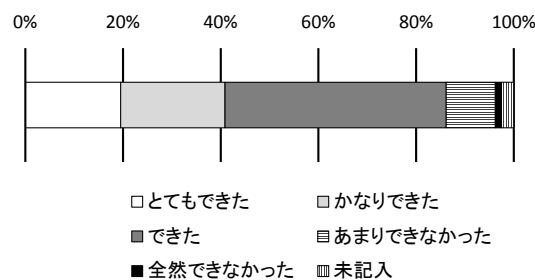


図 6 コミュニケーションワークに積極的に参加できたか

問 (2)-a の回答について図 6 にまとめる。とてもできた・かなりできた・できたという回答があわせて 85% 程度となっており、新入生がコミュニケーションワークに積極的に参加している様子が窺える。

問 (2)-b の回答について図 7 にまとめる。75% 程度の新入生が、緊張・不安・心細さが減ったと回答した。新入生オリエンテーションにより新生活へ感じる緊張や不安を和らげることが出来ていると考えられる。親しみ・わくわくについては、増えたという回答が 60% から 70% 程

度である。新生活への展望や期待を感じさせることよりは、不安を解消する効果の方が高い様子である。

問 (3)-a の回答について図 8 にまとめる。現状の 1 泊 2 日が良いとの回答が 59% であり、日帰りが良いという回答が 36% である。1 泊 2 日のオリエンテーションと日帰りのオリエンテーションを両方体験した上での回答ではないので、オリエンテーションに意義を感じているという問 (1)(図 5) の結果が現状を肯定する意見として現れていると考えられる。なお、その他の自由記述意見と

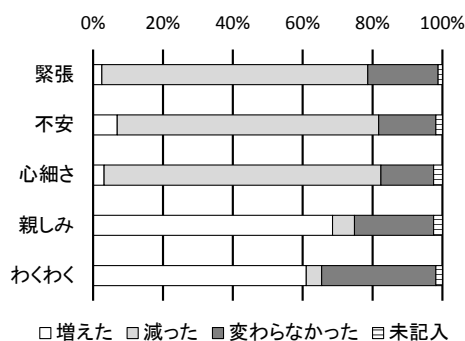


図7 コミュニケーションワークの効果

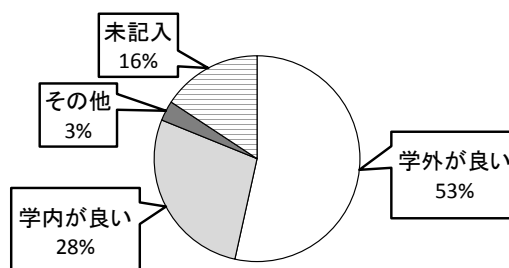


図9 場所

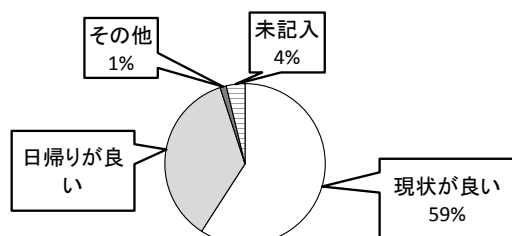


図8 日程

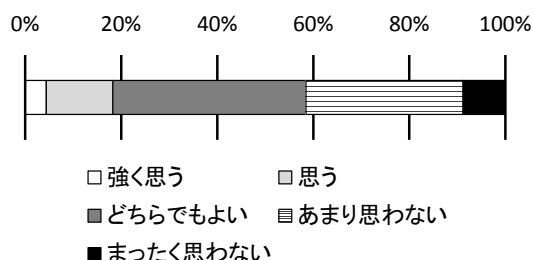


図10 上級生としてオリエンテーションに参加したいか

しては以下があった。

- もっと長い方が良い (1件)
- どちらでも良い (1件)

問(3)-bの回答について図9にまとめる。問(3)-aで現状の1泊2日が良いという意見が多数であったため、その結果を反映した形で、学外を53%が希望している。学内を希望している28%の新入生たちは、問(3)-aで日帰りが良いと回答していると予想される。その他の自由記述意見としては以下があった。会場で携帯電話を利用する際の電波状況に不満を持っていることが分かる。

- 電波状況の良いところ (2件)
- どちらでもよい (2件)
- 海 (1件)

問(4)の回答について図10にまとめる。強く思う・思うの回答が合わせて約20% (29件)であった。この新入生たちに来年度以降の新入生オリエンテーションに上級生スタッフとしてぜひ参加して欲しいと考えている。

問(5)の自由記述による意見をまとめる。同じような意見についてはまとめて件数を記載するとともに、代表的な回答をいくつか紹介する。まず、肯定的な意見として以下のようなものがあった。

- 良かった (29件)
  - 初めは来るのが嫌だったが、みんなと楽しく過ごすことができ、有意義な時間だった。
  - 有意義で充実した2日間だった。
  - 面白くていい経験になった。
- 友人ができた (41件)
  - 最初は初めて会う人ばかりで緊張したが、いい人ばかりですぐに仲良くなることができ、楽しく過ごすことができた。
  - コミュニケーションワークによって、学部内の友人ができた。
  - 友達も増えてとても楽しい合宿だった。
- 時間割作成が良かった (27件)
  - 時間割の組み方など丁寧に教えてもらったのでスムーズに時間割を作ることができました。
  - 時間割の組み方について詳しく指導していただいて、これからの不安の度合いが減ったのでこの合宿はとても大切なものだと感じました。
  - 時間割作成に教授、先輩方が丁寧に教えてくれるのは、ほかの大学にない長所と感じた。
- 上級生スタッフが良かった (16件)

- 上級生の方が丁寧に履修登録について教えてくれたので助かった。
- 班別に先輩がいたことで質問がしやすかった。
- 先輩方が優しく話しやすかった。これからも頼りにしたい。

次に、オリエンテーションのスケジュールに関する改善点として以下のような意見が挙げられた。それぞれ1件ずつであった。

- コミュニケーションワークをもっと増やした方がいいと思います。
- 時間割の作成時間が足りなかった。
- 履修登録の開始時間に不満を覚えた。

履修登録の開始時間について補足をしておく。履修登録はネットワークに接続したPCやスマートフォンから大学のシステムに接続して行う。この登録開始時刻がオリエンテーション2日目の午前0:00であった。そのため、人気があり履修人数の制限が行われる授業に履修登録をしたい場合には、夜中まで起床しておく必要があった。そのことによる不満が出たようである。

最後に施設の設備に関して以下のような不満が見られた。食事に対する意見が2件あり、他は1件ずつである。一番下の意見で述べられている椅子の件については、初日の時間割作成を体育館で行った際の不満と考えられる(2日目に引き続き行った時間割作成は会議室で行われており着席できた)。

- コンセントが少ない。
- 携帯電話の電波状況が悪い。
- ごはんが美味しくない(同様の意見計2件)。
- 説明を聞く際に椅子が欲しい。

## 8. お わ り に

九州産業大学 情報科学部 情報科学科で実施した平成28年度新入生オリエンテーションについて報告した。参加した新入生から概ね良い評価を得たことがアンケート結果から分かる。今回の実施結果を踏まえ、来年度以降の新入生オリエンテーションの実施方法について検討していく必要がある。

## ◇ 参 考 文 献 ◇

- [1] 神屋郁子, 平成25年度新入生オリエンテーション, 九州産業大学情報科学会誌, 12巻1号, pp.39-41, 2013年
- [2] 田中康一郎, 平成26年度新入生オリエンテーション実施報告, 九州産業大学情報科学会誌, 13巻1号, pp.44-49, 2014年
- [3] 安武芳紘, 一ノ瀬裕, 合志和晃, 成凱, 澤田直, 平成27年度新入生オリエンテーション実施報告, 九州産業大学情報科学会誌, 14巻1号, pp.32-35, 2015年
- [4] 導入ゼミナールI シラバス例
  - [https://ksuweb.kyusan-u.ac.jp/ext\\_syllabus/referenceDirect.do?nologin=on&subjectID=034900152525&formatCD=1](https://ksuweb.kyusan-u.ac.jp/ext_syllabus/referenceDirect.do?nologin=on&subjectID=034900152525&formatCD=1) (担当:朝廣)
  - [https://ksuweb.kyusan-u.ac.jp/ext\\_syllabus/referenceDirect.do?nologin=on&subjectID=034900152526&formatCD=1](https://ksuweb.kyusan-u.ac.jp/ext_syllabus/referenceDirect.do?nologin=on&subjectID=034900152526&formatCD=1) (担当:アブドゥハン)
  - [https://ksuweb.kyusan-u.ac.jp/ext\\_syllabus/referenceDirect.do?nologin=on&subjectID=034900152527&formatCD=1](https://ksuweb.kyusan-u.ac.jp/ext_syllabus/referenceDirect.do?nologin=on&subjectID=034900152527&formatCD=1) (担当:稲永)
  - [https://ksuweb.kyusan-u.ac.jp/ext\\_syllabus/referenceDirect.do?nologin=on&subjectID=034900152522&formatCD=1](https://ksuweb.kyusan-u.ac.jp/ext_syllabus/referenceDirect.do?nologin=on&subjectID=034900152522&formatCD=1) (担当:下川)
  - [https://ksuweb.kyusan-u.ac.jp/ext\\_syllabus/referenceDirect.do?nologin=on&subjectID=034900152531&formatCD=1](https://ksuweb.kyusan-u.ac.jp/ext_syllabus/referenceDirect.do?nologin=on&subjectID=034900152531&formatCD=1) (担当:古井)
  - [https://ksuweb.kyusan-u.ac.jp/ext\\_syllabus/referenceDirect.do?nologin=on&subjectID=034900152546&formatCD=1](https://ksuweb.kyusan-u.ac.jp/ext_syllabus/referenceDirect.do?nologin=on&subjectID=034900152546&formatCD=1) (担当:安武)

[5] グローバルアリーナ

<http://g-arena.com/>

[6] 情報科学部時間割

[http://www.eas.kyusan-u.ac.jp/wp-content/uploads/2014/03/JK\\_jikanwari2016\\_123.pdf](http://www.eas.kyusan-u.ac.jp/wp-content/uploads/2014/03/JK_jikanwari2016_123.pdf)

[7] 日本技術者教育認定機構 (JABEE)

<http://www.jabee.org/>